

第2次千葉県青少年総合プラン 平成27年度事業評価シート

計画番号 27

事業名	さわやかちば県民プラザ「交流事業」「学習・研修事業」		
担当課・室・班名	生涯学習課 社会教育振興室	問合せ先(電話番号)	4168

1 事業の概要

柱	I 子ども・若者の健やかな成長と自己形成・社会参画支援					
基本目標	2 社会形成・社会参加支援 職業的自立・就労支援					
基本方策	3 社会形成への参画支援・社会参加の促進					
事業内容	①千葉県体験活動ボランティア活動支援センターにおいて、ボランティア情報の収集と提供及び相談業務を実施する。 ②体験活動ボランティア講座(入門、実践、スキルアップ)において、ボランティア活動の在り方とその運営について学習する。 ③高校生のためのボランティア講座において、ボランティア活動に関する学習と体験を実施する。 ④ヤングパワームーブメント、子どもチャレンジプロジェクトにおいて、自主的なイベント等の企画・運営を実施する。					
当初予算額(千円)	26年度	741	27年度	713	28年度	708
決算額(千円)	26年度	718	27年度	647	28年度	
財源内訳	県単(○)		県単(○)		県単(○)	
	○		○		○	

2 事業実績・評価等

(1) 事業の実施結果

①ボランティアに関する問合せ380件。 ②体験活動ボランティア入門講座「ボランティアの心がまえや個人でできるボランティア 環境講座『水』」14人、実践講座「身近に出来るボランティアの実践 環境講座『水』」7人、スキルアップ講座「新しい価値観を創造する」24人参加。 ③高校生のためのボランティア体験講座(保育・環境・防災・体験学習等全6回)延べ260人参加。 ④ヤングパワームーブメント実行委員会延べ172人参加、イベント963人参加、子どもチャレンジプロジェクト466人、イベント1,562人参加。

(2) 事業の成果

・体験活動の意義を学び、主体的に関わる態度を養成することができた。その結果、ボランティア講座受講後にボランティア登録をする方や、翌年に仲間とともに再度受講する方もいる。また、小中学生対象の講座においては、複数年にわたって参加する児童生徒や、卒業後もサポーターとして事業に参加する生徒もいる。

3 事業の課題・問題点、今後の方向性等

・講座の参加者同士の交流や異なる世代の人たちと交流ができるように、当プラザ主催の他の講座とのコラボレーションについても工夫・検討していきたい。 ・参加者のモチベーションは高いので、企画側の人材の育成を目的とした講座を実施することも検討していきたい。

4 委員意見

第2次千葉県青少年総合プラン 平成27年度事業評価シート

計画番号 28

事業名	千葉県NPO・ボランティア情報ネットの運営 ニュースレターの発行		
担当課・室・班名	県民生活・文化課 県民活動推進班	問合せ先(電話番号)	4133

1 事業の概要

柱	1 子ども・若者の健やかな成長と自己形成・社会参画支援					
基本目標	2 社会形成・社会参加支援、職業的自立・就労支援					
基本方策	3 社会形成への参画支援・社会参加の促進					
事業内容	市民活動団体の活動やボランティア活動に対する県民の関心を高め参加につなげていくため、市民活動団体の活動情報や支援情報、ボランティア活動情報などを提供する。					
当初予算額(千円)	26年度	1252	27年度	966	28年度	1817
決算額(千円)	26年度	739	27年度	908	28年度	
財源内訳	県単(○)		県単(○)		県単(○)	
	○		○		○	

2 事業実績・評価等

(1) 事業の実施結果

○アクセス件数 ・県ホームページ(「千葉県NPO・ボランティア情報ネット」関連ページ)ページビュー数:914,547件
○情報発信件数 ・民間団体等からの助成情報99件 ・千葉県が募集しているボランティア情報 23件
○ニュースレターの発行(年12回)

(2) 事業の成果

<p>・「千葉県NPO・ボランティア情報ネット」については、アクセス件数の多いものをページ上部にすることで、スマートフォンでも必要なページにアクセスしやすいようにするなどの工夫し、助成情報等の県民活動に資する情報を提供した。</p> <p>・ニュースレターについては、市民活動支援センターへの取材記事や、日本政策金融公庫の方から寄稿いただいた資金調達に関する記事を掲載する等、読者にとって興味のある内容を提供した。</p>

3 事業の課題・問題点、今後の方向性等

<p>・「千葉県NPO・ボランティア情報ネット」については、今後も民間団体等の助成情報や各種ボランティアに関する情報等を随時更新するなど、充実した情報発信に努める。</p> <p>・ニュースレターについては、今後も読者の増加に向け、内容の見直しや広報活動に努める。</p>
--

4 委員意見

--

第2次千葉県青少年総合プラン 平成27年度事業評価シート

計画番号 29

事業名	県民活動普及啓発イベントの開催		
担当課・室・班名	県民生活・文化課 県民活動推進班	問合せ先(電話番号)	4133

1 事業の概要

柱	1 子ども・若者の健やかな成長と自己形成・社会参画支援					
基本目標	2 社会形成・社会参加支援、職業的自立・就労支援					
基本方針	3 社会形成への参画支援・社会参加の促進					
事業内容	NPO法施行日である12月1日前後の1カ月(11/23～12/23)を「ちば県民活動PR月間」とし、県民にNPO・ボランティア活動を知ってもらい、活動への参加に繋がるようなイベントを行う市町村や市民活動団体へ広報支援を行う。					
当初予算額(千円)	26年度	2521	27年度	1065	28年度	-
決算額(千円)	26年度	1193	27年度	1029	28年度	
財源内訳	県単(○)		県単(○)		県単(○)	
	○		○		-	

2 事業実績・評価等

(1) 事業の実施結果

○ちば県民活動フェスティバル2015
 ・県民活動普及啓発イベントを、企画提案による業務委託で実施した。
 ・ちば県民活動フェスティバル2015「笑顔がステキ～“好き”からはじめるボランティア～」
 受託者「ちばNPO協議会」、日時:12月5日(土)、会場:ららぽーとTOKYO-BAY、参加者:約2,300名
 ○ちば県民活動PR月間賛同行事へのグッズ提供による広報支援を18市町 5団体に行った。

(2) 事業の成果

・ちば県民活動フェスティバル2015については、当日は多くの方の参加があり、ステージ発表や展示ブースなどを通して県内の団体の活動を紹介することができた。
 参加した団体からは「活動を知ってもらうために必要なことを考えるきっかけになった」、「多様な人脈による様々な知恵を持ち寄ったことが来場者の共感につながった」「イベントをきっかけに広がったネットワークや有意義な経験を今後の活動に活かしたい」などの意見を頂くことができた。
 ・ちば県民活動PR月間賛同行事への広報支援により、賛同行事をとおして県民活動の普及啓発を行った。

3 事業の課題・問題点、今後の方向性等

・県民活動普及啓発イベントは平成28年度の実施予定はないが、今後も様々な機会を活用して県民活動の広報活動を進める。
 ・今後もより多くの方に市民活動団体について理解を深めていただくとともに、継続的な市民活動・ボランティア活動につなげていくための工夫が重要となる。

4 委員意見

第2次千葉県青少年総合プラン 平成27年度事業評価シート

計画番号 30

事業名	ボランティア活動支援体制整備事業		
担当課・室・班名	県民生活・文化課 県民活動推進班	問合せ先(電話番号)	4133

1 事業の概要

柱	I 子ども・若者の健やかな成長と自己形成・社会参画支援					
基本目標	2 社会形成・社会参加支援、職業的自立・就労支援					
基本方策	3 社会形成への参画支援・社会参加の促進					
事業内容	県全体のボランティア活動の推進を図るため、地域の人材の掘り起こしとともに、体験等を通じた地域のボランティア活動への参加のきっかけづくりを行う事業を実施する。					
当初予算額(千円)	26年度	1465	27年度	1560	28年度	1550
決算額(千円)	26年度	1100	27年度	1397	28年度	
財源内訳	県単(○)		県単(○)		県単(○)	
	○		○		○	

2 事業実績・評価等

(1) 事業の実施結果

応募団体6団体、採択団体3団体
 ①鴨川市社会福祉協議会「ハッピー・ボランティア 2015」(9月27日(日)実施、参加者約200名)
 ②特定非営利活動法人ディーブデモクラシー・センター「チーボラ大作戦」(講座、7回開催、参加者114名)(ボランティア体験、1月30日(土)～2月14日(日)実施、参加者15名)
 ③特定非営利活動法人生涯学習応援団ちば「2020ちばおもてなし隊 ファーストステージ」
 ～2015おもてなし活動 その成果と支援のあり方について～(12月12日(土)実施、参加者82名)

(2) 事業の成果

①東日本大震災の被災地のドキュメンタリー映画、被災された方による講演等があり、防災やボランティアについての理解を深めるイベントとなった。
 ②ボランティアに関する実践的な講座の後、webサービスを用いて参加希望者と団体のマッチングを行い、ボランティア体験を実施。参加者から、活動を継続していきたいとの声もあり、参加促進に繋がるものとなった。
 ③2020年のオリンピックイヤーに向け、高校生をはじめとした若い世代を対象に講演会を行い、特に若者にとって、行動することの大切さや、おもてなし活動への理解を深めるイベントとなった。

3 事業の課題・問題点、今後の方向性等

団体からの応募数及び各事業の参加者数の増加に向け、広報について工夫する必要がある。
 また、継続的なボランティア活動に向けた内容とできるよう、工夫する必要がある。

4 委員意見

第2次千葉県青少年総合プラン 平成27年度事業評価シート

計画番号 31

事業名	ライトブルー少年賞事業		
担当課・室・班名	県民生活・文化課 子ども・若者育成支援室	問合せ先(電話番号)	2288

1 事業の概要

柱	1 子ども・若者の健やかな成長と自己形成・社会参画支援					
基本目標	2 社会形成・社会参加支援、職業的自立・就労支援					
基本方針	3 社会形成への参画支援・社会参加の促進					
事業内容	郷土千葉県の新しい時代を担う、心豊かなたくましい青少年を育成するため、青少年の善意や親切心に基づく善行を広く表彰し活動を称えるとともに、その気運を広めていく。					
当初予算額(千円)	26年度	392	27年度	392	28年度	392
決算額(千円)	26年度	219	27年度	323	28年度	
財源内訳	県単(○)		県単(○)		県単(○)	
	○		○		○	

2 事業実績・評価等

(1) 事業の実施結果

- ・善行少年・団体の選考会議(11/19)
- ・表彰式の開催(1/26) 個人の部 5件(9名)、団体の部 6件
- ・受賞者・受賞団体名簿の作成・配布

(2) 事業の成果

- ・青少年の善意や親切心に基づく善行を表彰し、受賞者名簿を配布する等でその活動を広めることにより、社会形成・青少年の社会参加支援に寄与した。

3 事業の課題・問題点、今後の方向性等

- ・引き続き、青少年の善意や親切心に基づく善行を広く表彰し活動を称えるとともに、その気運を広めていくこととする。

4 委員意見

第2次千葉県青少年総合プラン 平成27年度事業評価シート

計画番号 32

事業名	内閣府青年国際交流事業における参加青年の選考		
担当課・室・班名	県民生活・文化課 子ども・若者育成支援室	問合せ先(電話番号)	2288

1 事業の概要

柱	1 子ども・若者の健やかな成長と自己形成・社会参画支援					
基本目標	2 社会形成・社会参加支援、職業的自立・就労支援					
基本方針	3 社会形成への参画支援・社会参加の促進					
事業内容	諸外国との青年の交流により、青年相互の理解と友好を促進し、青年の国際的視野を広めて、国際協調の精神を養い、次代を担うにふさわしい青少年を育成することを目的とする、内閣府の青年国際交流事業について、千葉県の参加青年を選考し推薦する。					
当初予算額(千円)	26年度	—	27年度	—	28年度	—
決算額(千円)	26年度	—	27年度	—	28年度	
財源内訳	県単(○)		県単(○)		県単(○)	

2 事業実績・評価等

(1) 事業の実施結果

・県内各市町村、地域振興事務所、青少年団体、県内図書館等への参加青年募集案内の配布や、千葉県ホームページへの募集情報の掲載等により広報を実施した。
 ・千葉県推薦者選考会議を開催し、千葉県在住の応募者の中から内閣府へ推薦する参加青年を選考した。27年度は本県において17名の応募があり、選考を経てその内10名が事業に参加した。

(2) 事業の成果

・本事業に参加した千葉県青年が諸外国青年との理解と友好を深め、国際的視野を広げ、国際協調の精神を養った。

3 事業の課題・問題点、今後の方向性等

・近年、本事業の応募者は全国的に減少傾向にあり、千葉県の応募者も徐々に減少してきている。多くの千葉県青年が本事業に参加できるよう、県としての広報実施方法を検討し、応募者を増加させる努力が必要である。

4 委員意見

--

第2次千葉県青少年総合プラン 平成27年度事業評価シート

計画番号 33

事業名	幕張アジアアカデミー事業		
担当課・室・班名	国際課 国際交流協力室	問合せ先(電話番号)	2398

1 事業の概要

柱	I 子ども・若者の健やかな成長と自己形成・社会参画支援					
基本目標	2 社会形成・社会参加支援・職業的自立・就労支援					
基本方針	3 社会形成への参画支援・社会参加の促進					
事業内容	アジア経済研究所開発スクールに来日中のアジアからの外国人研修生が、県内の高校生に対して、自国の文化等についての特別講義(使用言語:英語)を行う幕張アジアアカデミー「アジア総合学科」を実施する。					
当初予算額(千円)	26年度	51	27年度	32	28年度	32
決算額(千円)	26年度	-	27年度	-	28年度	
財源内訳	県単(○)		県単(○)		県単(○)	
	○		○		○	

2 事業実績・評価等

(1) 事業の実施結果

・アジア経済研究所の協力により、公立校5校、私立校6校の計11校で、幕張アジアアカデミー「アジア総合学科」を実施した。

(2) 事業の成果

・アジアやアフリカの海外行政官等から、自国の政治経済・文化等の紹介を聴くことにより、高校生の国際理解と関心を深める良い機会となったことに加え、高校側のリクエストを一部加えてテーマを設定することにより、高校生が興味を持ちやすい内容となった。

3 事業の課題・問題点、今後の方向性等

・高校生が開発途上国の事情や経済・地理等を当該国の行政官に直接聴く機会は、海外への関心・理解の向上に非常に貴重であるので、継続して実施する。

4 委員意見

第2次千葉県青少年総合プラン 平成27年度事業評価シート

計画番号 34

事業名	東京オリンピック・パラリンピックアスリート強化・支援事業		
担当課・室・班名	体育課スポーツ推進室オリンピック・パラリンピックアスリート強化・支援班	問合せ先(電話番号)	4101

1 事業の概要

柱	I 子ども・若者の健やかな成長と自己形成・社会参画支援					
基本目標	2 社会形成・社会参加支援 職業的自立・就労支援					
基本方針	3 社会形成への参画支援・社会参加の促進					
事業内容	東京オリンピック・パラリンピックに千葉県出身の選手が一人でも多く出場し、県民に元気と勇気を与えることができるよう、関係競技団体と連携し、計画的にアスリートの強化を図る。					
当初予算額(千円)	26年度	100,000	27年度	100,000	28年度	100,000
決算額(千円)	26年度	99,924	27年度	99,998	28年度	
財源内訳	県単(○)		県単(○)		県単(○)	
	○		○		○	

2 事業実績・評価等

(1) 事業の実施結果

・オリンピック部分では、基礎強化は22競技218名の選手と5競技13団体、特別強化は25競技126名の選手を指定し強化・支援した。
 ・パラリンピック部分では、基礎強化は6競技50名と2競技3団体、特別強化は13競技40名の選手を指定し強化・支援した。

(2) 事業の成果

・強化指定選手は、国際大会で24名、国民体育大会で46名が入賞するなど、各種大会で活躍した。

3 事業の課題・問題点、今後の方向性等

・障害者スポーツは、競技人口や競技団体が少ないことから、千葉県障がい者スポーツ協会内に昨年新たに設置した「障害者アスリート部会」と連携し、パラリンピック競技の体験会や有力選手の調査・把握等を行っていく。

4 委員意見